

松戸市立病院だより

編集・発行:松戸市立病院広報委員会
〒271-8511 松戸市上本郷 4005 番地 TEL047-363-2171(代表)
<http://www.city.matsudo.chiba.jp/hospital/>



柏市在住 櫻庭 巧さんの作品

「理念」

すべての人から「ここに来てよかった」と思われる病院を目指します。

「基本方針」

1. 患者さんの権利を尊重し、安全かつ良質な医療ケアを提供します。
2. 小児医療、救命救急医療などを含めた急性期総合病院として、質の高い医療を提供します。
3. 地域の医療機関と連携し、地域完結型医療の中心的病院を目指します。
4. 職員が誇りと生きがいを持てる職場を作り、チーム医療を行います。
5. 臨床教育病院として医療人の育成に力を注ぎます。
6. 公立病院として自立した経営基盤を構築します。

「職業倫理」

1. 医療に携わることの尊厳と責任を自覚し、品位を保ち、良識ある職業人としての人格、教養を高めます。(向上)
2. 生涯学習の精神を保ち、医療の知識と技術の習得に努め、その進歩・発展に尽くします。(進歩)
3. 医療を受けるすべての人に対して、平等に接し、人格・プライバシーを尊重し、職務上の守秘義務を遵守します。(平等・尊重)
4. 互いに尊敬し合い、協力関係のもと医療に尽くします。(協力)
5. 医療の公共性を重んじ、法令やルールを遵守し、医療を通じて社会の発展に貢献します。(社会性)

当院は(財)日本医療機能評価機構の「認定医療機関病院」です

新型インフルエンザ

小児医療センター長
小森 功夫

日本での新型インフルエンザは、昨年11月中旬をピークに患者数は減少しています。しかし、年末までの患者数は、全国で推定1,750万人と、まだ多くの人がかかっていません。過去の新型インフルエンザの流行では、数年にわたる数回のピークがありました。1回のピークが過ぎたからと言って流行が落ちつくと考えてはいけません。

昨年の流行では、新型インフルエンザと診断された人のうち、約0.1%が入院し、0.0007%（15万人に1人）が亡くなっています。季節型インフルエンザに比べ、重症者や死亡者の割合は高くありません。しかし、今後ウイルスの変異により高くなる可能性があります。これまでは、未成年が多く感染していますが、今後、重症化リスクが高いとされる高齢者での流行が懸念されます。

昨年秋以降にPCR検査で検出されているインフルエンザウイルスは、全てが新型インフルエンザウイルスです。この時期に、簡易検査キットでA型と診断されれば、新型インフルエンザに関わったといえます。

松戸市立病院では、小児科を中心に約150の方が入院されました。ピーク時には、小児病棟では収容できず、他の病棟にも収容しました。人工呼吸器をつけた方は少数でしたが、さらに高度な救命医療が必要で転院した方もいました。千葉県小児医会では、重症者がすぐに適切な病院に収容できるよう、県内小児病棟の空きベッド検索システムをつくりました。昨年はこのシステムを必要としませ

んでしたが、もう少しピークが大きかったならば、必要となったでしょう。さらに大きければ、どこの病院にも収容できないことも懸念されます。

感染を急激に拡大させないためには、感染してしまった人から感染していない人への感染を防ぐ必要があります。学級閉鎖も一つの方法です。昨年は、学級閉鎖した事により、未成年者の感染拡大を病院機能が麻痺しない程度に止めました。また、感染したら外出しない、マスクをするなど感染拡大予防法が必要です。

症状が出て、ほとんどの場合重症化しないので、あわてる必要はありません。発熱後すぐに受診しても、簡易キットで陽性にならず、診断できません。しかし、土気色や青白い、呼吸が苦しい、ぐったりしているなどの症状があれば、すぐに医療機関を受診してください。

ワクチン接種は、全国民が対象となっています。このまま流行が終息するわけではないので、これからでも、接種するのがよいでしょう。また、接種しても、感染を完全に阻止するわけではないので、手洗いなどの感染防止策は必要です。

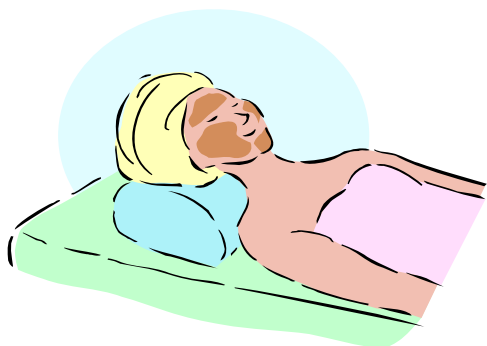
新型インフルエンザは、数年にわたり何回かの感染ピークが起こります。大多数の人が感染すると季節型インフルエンザとなります。この間に変異が起これば、重症化する人が増えることがあります。変異の程度によっては、2回以上かかることもあります。季節型インフルエンザとなってからも、毎年のように流行を繰り返すのでワクチン接種や感染症感染対策が常に必要です。油断は禁物です。



綺麗なお肌を保つには

皮膚科副部長
佐々木 裕子

いつまでも美しくありたいというのは昔から人々が望んでいたこと。日本皮膚科学会では、通常の皮膚科専門医とともに美容皮膚科専門医制度を設け、質の高い美容医療を目指しています。



綺麗なお肌を保つには、紫外線対策とニキビケアが決め手

透明感や張りのある綺麗なお肌。日ごろの紫外線対策とニキビケアで理想のお肌を保つことが可能です。

肌の老化は8割防げる：日々の紫外線対策が大切

お肌の老化には防ぐことが出来る光老化と、防ぐことが出来ない老化の2種類があります。一説には光老化はお肌の衰えの8割を占め、日ごろのお手入れ次第で赤ちゃんのような綺麗な肌を保つ事が出来ると言われています。光老化の原因である紫外線障害は紫外線を浴びるたびにお肌にたまっていきます。日々紫外線からお肌を守るように気をつけることが大切です。

Q 1 出来てしまったシミは治せるの？

A 1 大部分、綺麗に治ります。

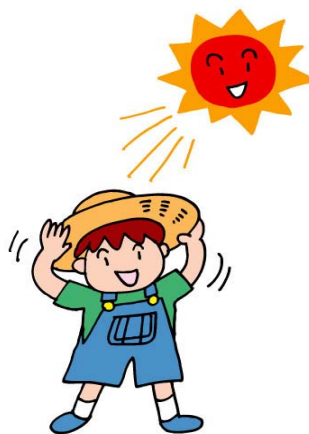
シミにはいくつか種類がありますが、紫外線による老人性色素斑や、日本人に多い遅発性太田母斑などはレーザーで綺麗になります。良性のシミとっていたら癌だったということもありますので気になるシミがありましたら皮膚科専門医にご相談ください。近年ではダーマトスコピーという拡大鏡を使って精度の高い診療ができるようになりました。

Q 2 ニキビを酷くしないには？

A 2 世界標準薬が使えるようになりました。

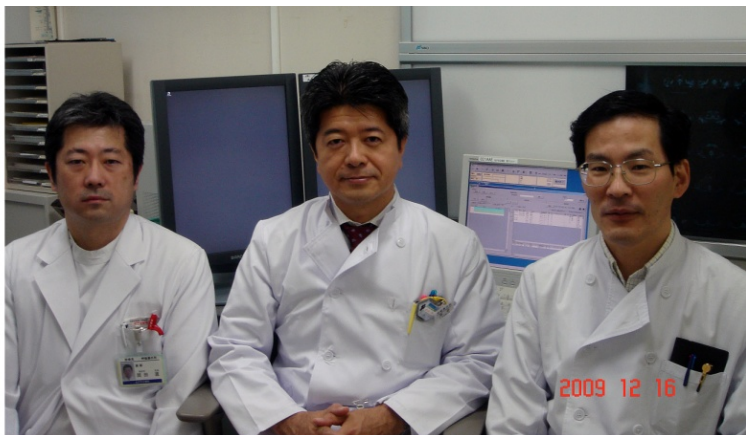
殆どの方が経験するニキビ。諦めている人も多いと思いますが、そんな方々に朗報です。世界標準薬のアダパレンが使えるようになりました。日本皮膚科学会のホームページにニキビケアのことが詳しく書かれていますので、是非ご覧になってください。

お肌のトラブルは皮膚科専門医にご相談ください。お近くの専門医は日本皮膚科学会のホームページでご確認出来ます。



“早期肺癌を見逃さない最先端の気管支鏡検査”

呼吸器外科部長 渋谷 潔



呼吸器外科スタッフ
岡田直(左)、渋谷潔(中央)、高野浩昌(右)

当院呼吸器外科は、肺癌など胸部悪性腫瘍の診断と手術、自然気胸など良性肺疾患の外科的治療、肺癌術後や再発肺癌に対する抗ガン剤治療などを行ってまいりました。これらに加え2009年10月から、特殊な光を用いた気管支鏡を駆使した肺癌早期診断と体に優しい治療への新たな取り組みを開始しました。私、渋谷が中心となって千葉大学医学部附属病院呼吸器外科で行ってきた最先端の気管支鏡検査を施行できる体制が整いました。呼吸器領域における先進的な医療を松戸市および東葛飾地区の皆様にも知っていただきたく思います。

肺門部早期肺癌発見のためには喫煙指数(一日の喫煙本数×喫煙年数)＝600以上のヘビースモーカーの方を対象とした肺癌検診での喀痰細胞診が有用です。(痰の細胞を顕微鏡で見ると悪性細胞やこれに類似した異型細胞が見られる人がいます。)このような喀痰細胞診異常の方を中心に一般の光を用いた気管支内視鏡に加えて、われわれは特殊な光としての蛍光観察 Auto Fluorescence Imaging (AFI) と狭帯域光観察 Narrow Band Imaging (NBI) を用いた画像強調観察

を行い、一般の気管支鏡だけでは発見不可能な肺門部早期肺癌や前癌性病変など小さな気管支病変の早期発見を可能にしています。更に内視鏡下での細胞レベルの観察が可能な顕微鏡観察を内視鏡に導入するべく光学顕微鏡技術を応用した Endo-Cytoscopy System を用いた細胞レベルの観察も開始します(日本で行うのは松戸市立病院呼吸器外科だけです。)これらの気管支鏡で発見された数ミリから1cm内外の小さな早期肺癌は、気管支鏡を使った体に優しい光線力学的治療(PDT)が可能でほとんどの方が治癒します。

松戸市においても、市役所健康福祉本部の保健福祉課の方々を中心となり市医師会の先生方の協力の下、積極的に肺癌検診が行われています。主として40歳以上の市民の方々が対象で、胸部レントゲン写真は年間約34,400人、喀痰細胞診は年間約2,000の方が受診されています。ヘビースモーカーで痰の多い方、血痰の見られた方などは、積極的に喀痰細胞診を含めた肺癌検診をお勧めいたします。当科でも迅速な対応が可能ですので、呼吸器症状などが気になる方は直接

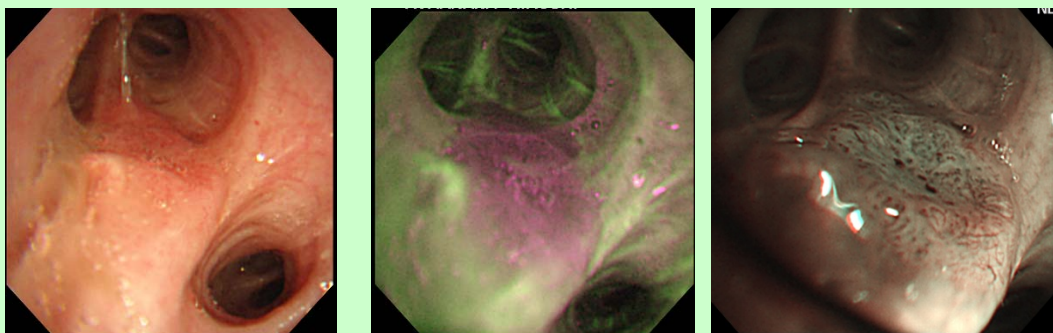
呼吸器外科へご連絡してください、お待ちしております。

以上当科において開始した肺癌の早期診断に対する最先端の気管支鏡検査の有用性を説明させていただきました。肺癌に限りませんが、あらゆる疾患は早期発見と早期治療が大切です。肺癌と共に全

ての呼吸器疾患に対応するべく呼吸器内科と連携しながら診療に励んでおります。松戸市および近隣の皆様におかれましては今後とも末永くどうぞよろしくお願い申し上げます。

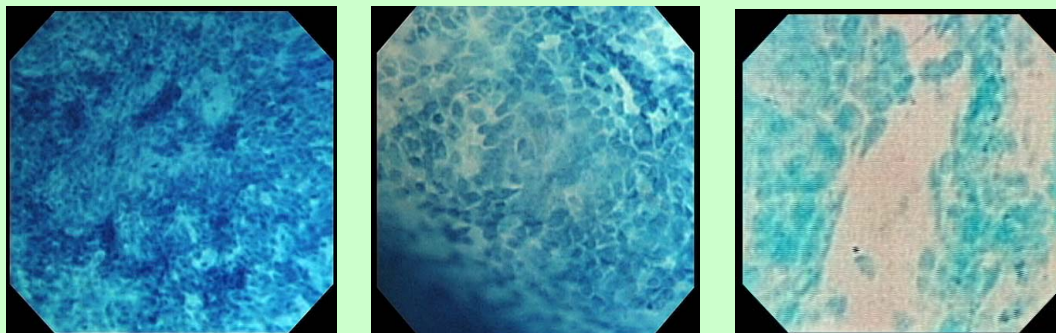
最先端の気管支鏡検査

肺門部早期肺癌の診断が容易になりました。数ミリの癌も診断可能です。



左：一般の気管支鏡で把握できるのは気管支粘膜の軽度肥厚のみです。
中央：蛍光観察 (AFI) では病巣部位は周囲の緑色の中に紫色として確認されます。
右：狭帯域光観察 (NBI) では癌病巣の腫瘍血管が明瞭に見られます。

肺癌の気管支鏡下での顕微鏡観察が可能になりました。光学顕微鏡に匹敵する 570 倍の拡大観察が気管支鏡で行われます。



左：正常気管支上皮細胞では小型の細胞の密生像が見られます。
中央：前癌性病変ではやや大型の異型細胞の増生が観察されます。
右：扁平上皮癌では大小不同のある腫瘍細胞の増殖が認められました。

「緩和ケア」について

精神科兼緩和ケア科部長
宮武 良輔

平成21年7月より当院において緩和ケア科が開設されました。ここでは、緩和ケアと当科の業務「緩和ケアチーム」・「緩和ケア外来」について説明させていただきます。

★「緩和ケア」って何でしょう？

「緩和ケア」は、がんの治療ができなくなった人のための医療（終末期医療）のことだと思っている人が多いのではないのでしょうか。いいえ、そうではありません。緩和ケアとは、からだの痛みや気持ちのつらさなどを和らげ、その人らしい生活を送っていただけるように患者さんとご家族をサポートすることです。そして、診断された時から病気の時期に関係なく受けることができる医療です。

★どんなことを相談できるのでしょう？

病気によって、からだの痛み、しびれ、だるさ、食欲がない、吐き気、息苦しさ、下痢や便秘などさまざまな症状が現れることがあります。また、からだだけでなく、力がわかない、落ち込んでしまう、眠れない、イライラするなどのところの問題も現れることがあります。さらに、人との関わりの問題、どこで療養するのが良いのか分からない、医療費はどうしたらいいのかなどさまざまな悩みや不安があるかも知れません。このように、からだの問題、ところの問題、社会生活での問題などについて相談し、治療を受け

ることができます。また、患者さんだけでなくご家族の心配もご相談ください。

★松戸市立病院の「緩和ケアチーム」・「緩和ケア外来」のご紹介

当院では入院および通院中の方を対象に緩和ケアを行っています。

①当院入院中の方の治療

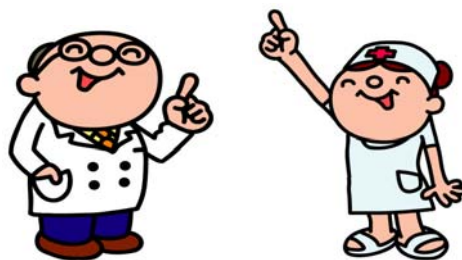
当院には、緩和ケア科医師（麻酔科、精神科）、がん性疼痛看護認定看護師、薬剤師、臨床心理士からなる「緩和ケアチーム」があります。緩和ケアチームと各科の担当医師、病棟看護師が協力しながら、からだやこころの問題を支援するために毎日病室を回診しています。緩和ケアチームの診察を希望される方は、担当医師にご相談ください。

②当院通院中の方の治療

毎週火曜日（こころのケア）と水曜日（からだのケア）の午前中に「緩和ケア外来」を行っています。現在、完全予約制で当院通院中の方に限らせていただいております。緩和ケア外来受診を希望される方は、かかりつけの担当医師にご相談ください。

★最後に

「がんという病気だからつらいのは仕方ない」、「痛いのは我慢するしかない」と思わないでください。当院の「緩和ケアチーム」や「緩和ケア外来」がサポートいたします。



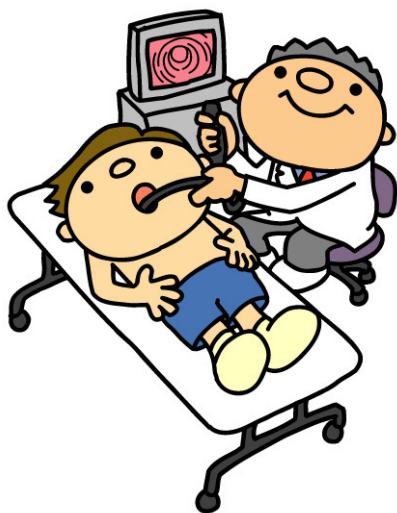
早期胃癌と 内視鏡的治療

消化器内科
武田晋一郎

《胃癌と症状》

早期の胃癌は症状がないので自分では気がつきません。気づかない間に癌は進行します。進行胃癌による症状には、胃が重苦しい、食欲不振、体重減少などがあり、中には血を吐いたり、便が黒くなって、胃癌が発見される患者さんもいらっしゃいます。

しかし早期の癌は胃炎などの症状や健康診断で偶然発見される場合がほとんどです。



《胃癌の治療》

胃癌の治療法には「手術」などの様々な治療法がありますが、早期の胃癌に対しては内視鏡を使ってお腹を切らない治療方法が用いられるようになってきました。内視鏡治療は手術に比べ、入院が短期間ですみ、胃の大きさが変わらず後遺症がほとんどない、といった利点があります。

従来は輪状の金属ワイヤーを病変部に掛け粘膜を切る内視鏡的粘膜切除術（EMR）が行われていました。この治療は比較的簡便ですが、病変の大きさや状態によっては切除が難しかったり、大きな病変は何回かに分けて切除することもあり、取り残しをおこしやすい、といった欠点がありました。

そこで、確実に取り残しなく切除できるように、内視鏡からだした細い電気メスによって、胃の粘膜をはがしていく方法、粘膜下層剥離術（ESD）が開発されました。平成 18 年 4 月から保険収載され、これを契機に胃癌の内視鏡的治療ではこの切除方法が主流となっています。

内視鏡的治療が適応する胃がんは、悪性度の低い高分化型腺癌で、粘膜までに限られた早期がんのみです。このレベルのがんは、リンパ節転移をしている可能性が極めて低いためです。粘膜より下層に進んでいるがんは、内視鏡的治療では完全に取り去ることができず、転移の可能性もあるためこの方法は適しません。早期癌のなかでも癌が粘膜内にとどまり、2cm 以下であるもの、分化型癌であるもの、潰瘍を伴わないものが対象となります。

《大事なことは》

初期の癌には自覚症状がありません。癌は気づかぬうちに発生し育ちます。自覚症状が出た頃にはすでに進行し転移しています。ですから内視鏡を用いた手術で根治するためには早期発見が不可欠です。このためには 40 歳を超えたら無症状でも定期的に内視鏡検査を受けることが重要です。

市立病院附属看護専門学校 看護学校 富田三奈子



看護学校では、秋の大きな行事である文化祭と戴帽式が終了しました。文化祭では、当校を受験したいと希望する高校生とその保護者が例年よりも多く文化祭に訪れました。進路相談コーナーで学生たちの話を聞いた高校生は、「必ずここに来ます!」と力強く言って帰りました。



また、戴帽式は厳粛な雰囲気の中で行われ、1年生は看護への気持ちも新たにになりました。このように、学校では年間教育計画にいくつかの行事を組んでいます。学生が勉強や実習だけでなく、他の学校生活の中でも自分たちの持ち味を發揮し、自らの可能性を見つけてくれればと思います。

さて、カリキュラムの一つとして「臨地実習」があります。当校では市立病院での病棟での実習、東松戸病院での訪問看護実習、老人介護施設訪問などを実施

しており、全予定は終了しました。

本年度は新型インフルエンザの流行で、患者さんの増加や、学生本人が感染して看護にあたれなくなるなど、実習とスケジュール調整にご尽力いただいた病院関係者に心より御礼申し上げます。また、看護のお手伝いをさせていただきました患者さんとそのご家族の方々に感謝申し上げます。

2年生は、これから始まる各論実習の準備に入っています。息つく暇なく、平成22年1月18日(月)から実習生が各病棟に伺いますので、ご指導の程よろしくをお願いします。



一方、3年生は平成22年2月21日(日)の国家試験に向け、本格的な受験勉強に取り組んでいます。来年は必修問題数が50問に増え、ますます基本的な知識を強化する必要があります。当校の最上級生として、最後まであきらめない姿を下級生に見せてほしいと思っています。

